

環東シナ海伝承文化の総合的研究

I 環東シナ海伝承文化の総合的研究

II 共同研究メンバー

大里浩秋, 河野通明, 鈴木陽一, 佐野賢治, 孫安石, 中島三千男, 廣田律子, 福田アジオ, 彭国躍, 山口建治

III 研究目的

人文研究所の共同研究グループ「東アジア比較文化研究会」は、これまで日本・中国・朝鮮の文化を比較し、相互の影響関係やそれぞれの独自性を検討する作業を行ってきた。本研究は、この共同研究を基盤にしつつ、東シナ海をとりかこむ、日本・中国・朝鮮・臺灣の環東シナ海の伝承文化を総合的に研究することを目的とする。

東シナ海沿海の各地域は、それぞれ固有の伝統文化を育んできたが、同時に共通する側面もまた少なくない。古来、様々な人々がこの海域を縦横に行き交い、交流・接触が行われてきたからである。今回の共同研究では、この海域沿岸部の人々の暮らしと伝承文化をつぶさに調査し、その交流・接触の様相・形跡を洗い出すことに努める。共同研究メンバーの個々の特性を考慮し、今回の中心課題は1, 生業とその用具, 2, 祭りと芸能, 3, 神話と民話の3領域とする。

IV 今年度の活動内容

今年度は共同研究メンバー個人による調査を中心に活動を行った。

1 研究講演会（神奈川大学中国学会と共催）

何彬（東京都立大学助教授） 「中国福建省の巫と風水」

2 調査活動（予定を含む）

山口	9月21日～23日	名護市での全国獅子舞シンポジウムに参加すると同時に、旧暦8月15日に行われる名護市東江の豊年祭 ^{あがりふ} の行事全体の中で中心的な役割を担っているのを実地見聞した。
孫・山口	2月24日～3月2日	山東省へ民俗文化の調査
廣田	3月12日～16日	北京へ祭祀演劇についての資料調査
鈴木	3月12日～23日	江西, 浙江へ民俗文化の調査
中島	3月26日～31日	山東省へ海外神社の調査
佐野	3月17日～21日	石垣島は風水関係資料調査

(鈴木陽一)